

## 令和4年竹田市教育委員会第8回定例会 会議録

- 1 開催日時 令和4年8月4日（木）午後3時から
- 2 開催場所 竹田市役所庁議室
- 3 出席委員  
教育長 志賀 哲哉  
1 番委員 甲高 幸一  
2 番委員 佐藤 恵  
3 番委員 吉野 聖子  
4 番委員（教育長職務代理者） 賀籠六尚樹
- 4 欠席委員 なし
- 5 本定例会に説明のため出席した者の職・氏名  
教育総務課長 野仲 芳尊  
学校教育課教育指導係長 佐藤 淳一  
生涯学習課長 工藤 直樹  
まちづくり文化財課主幹兼まちづくり文化財係長 真田 博幸  
歴史文化館長 佐藤 晃洋  
竹田中央学校給食共同調理場長 松田 好恵  
事務局員 教育総務課参事 大塚 聡子
- 6 議事日程  
(1) 会議録の承認 第7回定例会会議録  
(2) 教育長報告  
(3) 審議事項  
議題第32号 令和4年度竹田市教育費予算（9月補正）要求書について  
議題第33号 竹田市立小中学校通学区設定に関する規則の一部改正について  
議題第34号 令和4年度竹田市教育行政に関する点検評価報告書について  
議題第35号 令和5年度使用教科用図書の採択について  
(4) 報告事項  
(5) 審査事項  
(6) 協議事項  
幼稚園・小学校の運動会について  
竹田市教育長・教育委員学校訪問について  
(7) 連絡事項  
(1) 8月幼・小・中行事予定表  
(2) 8月教育委員会関係日程（予定）  
(3) 今後の主な予定  
(8) その他 各課から  
(9) 教育委員からの提案・意見
- 7 議事次第 別紙のとおり

[開会時刻：午後3時]

- 野仲教育総務課長 会議の出席状況でございますが、まず、職員につきまして、本日は学校教育課長の渡邊の代理として、教育指導係長の佐藤が、また、まちづくり文化財課長の古田の代理として、まちづくり文化財係長の真田が、それぞれ出席いたします。それでは、委員の出席状況の報告をいたします。教育長及び委員4名出席、傍聴者が2名いらっしゃいます。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条の規定に基づき、本委員会が成立していることを報告いたします。
- 志賀教育長 皆さんこんにちは。第7波、そして危険な暑さが続く中、ご多用の中お集まりいただきましてありがとうございます。ただいまから第8回定例会を開会します。第7回定例会の会議録はすでにお配りしておりますが、質疑、修正等はありませんか。それでは、会議録を承認願えますか。
- 委員 (「はい。」の声)
- 志賀教育長 では、会議録に署名をお願いします。
- 志賀教育長 それでは教育長報告をお願いします。教育総務課長。
- 野仲教育総務課長 はい。前回の教育委員会第7回定例会以降、教育長が出席しました会議・諸行事等について報告いたします。なお、中止・延期されたものについては省略させていただきます。7月6日、豊岡小のピブリオバトル、及び第1回学校給食運営審議会。7日、竹田中・久住中の交流授業。8日、第1回学校支援センター連絡協議会。9日、シェルパの会岡城清掃。11日、竹田中・久住中の交流授業、竹田高校による九州大会出場報告。12日、緊急の校長・所長会議、竹田中・久住中の交流授業、そして都野中学校通学方法等検討専門部会。14日、菅生小の保護者・未就学児保護者合同説明会。16日、竹田高校での中学3年生体験セミナー。17日、第35回久住高原クロスカントリー大会。19日、都野中統合にかかる都野中・都野小保護者、未就学児保護者全体会。21日、第2回部活動検討委員会。22日から28日までの間、大分県中学校総合体育大会、同じく22日、要保護児童対策地域協議会代表者会議。23日、竹田高校の未来を輝かせる会設立総会、及び竹田高校同窓会総会。26日、竹田市戦没者追悼式。27日、第2回都野中学校統合検討委員会。28日、文化財保護調査委員会。29日、定例課長会議、及び第1回健康づくり推進協議会。8月3日、子ども交流集会。本日4日、瀧廉太郎記念全日本高等学校声楽コンクール運営諮問委員会、そして、教育委員会第8回定例会。以上です。
- 志賀教育長 教育長報告に対する質疑等ありませんか。吉野委員。
- 吉野委員 はい。都野中学校の統合検討委員会に関連して質問が三つあります。7月12日に行われている通学方法等検討専門部会というのは、メンバーの構成はどういうものなのか、統合検討委員会の中の方が分かれてされるのか、また新たに別の方が加わってなされているのか教えてください。それと、7月27日の検討委員会の詳細な内容をお聞きしたいです。

志賀教育長	では、通学方法等検討専門部会のメンバーと部会の内容について、教育総務課長。
野仲教育総務課長	<p>まず、7月12日に行われました都野中学校通学方法等検討専門部会のメンバー、部会員でございますけれども、都野中の統合検討委員会の委員の中から、専門部会員ということで選ばれております。都野中学校のPTA会長・副会長、校長・教頭、都野小学校のPTA会長・副会長、校長・教頭、加えて、竹田中学校の校長・教頭がメンバーとなっております。</p> <p>それから、二つ目の質疑でございますが、7月27日の検討委員会の内容ということでございます。後ほど、その他のお知らせで報告しようとは思っておりましたが、この日に、来年度、令和5年4月1日を実施日として、竹田中学校へ編入により統合することが、全会一致で承認・決定をされております。内容としましては、この検討委員会の前に行われました、7月12日の通学方法等検討専門部会での協議内容、それから、都野中の今後のあり方についての保護者合同全体会、都野中・都野小の保護者と未就学児保護者を対象にした全体会が19日に開かれておりますが、そこでの協議内容をまず報告いたしました。その後、議事として、私どもが提案をしている統合にかかる議案を三つに分けて提案をしております。都野中学校の学校統合を推進すること、竹田中学校に編入の方法により統合すること、統合実施日を令和5年4月1日とすること、以上三つに議案を分けて提案をし、協議をいただいているところでございます。協議の内容としましては、保護者全体会で出ました、中学校在校生のご意見でありますとか、そういったことの報告をして、委員の皆さんで審議をいただいて、決定をいただいたというところでございます。以上であります。</p>
志賀教育長	吉野委員いかがでしょうか。吉野委員どうぞ。
吉野委員	三つの議題に分けて、採決を取られたということですか。統合するかしないかと、年度が5年4月であるかどうかと、通学方法についての最終決定をする、決をとられたということですか。
志賀教育長	野仲教育総務課長。
野仲教育総務課長	はい。採決いただいた議案につきましては、一つ目が「都野中学校の学校統合を推進する」、二つ目が「統合先の学校を竹田中学校とする。方法については編入とする」、三つ目が「統合実施日を令和5年4月1日とする」。以上三つの議案を提案し、それぞれ審議をいただきました。当初、会長は議案ごとに進行をしておりましたが、関連があるということで指示を受け、議案をまとめて提案して、最終的には、一括しての採決という形になっております。
志賀教育長	吉野委員。
吉野委員	その最終的な採決が、どういう文言の賛成反対、その題名というか文言と、挙手とか投票であったのか、その採決の方法を教えてください。
志賀教育長	教育総務課長。

野仲教育総務課長	採決の方法につきましては、私が議案の提案をし、それについての「質疑等ありませんか」ということで、会長が委員の皆さんにお聞きになりました。その後、「この議案に対して、ご異議ありませんか」ということを諮られまして、委員の皆さんからは「異議なし」ということでございましたので、そのことから、全会一致、満場一致で承認・決定するという会長の判断、採決をしております。
志賀教育長	吉野委員
吉野委員	採決は、挙手ですか。
野仲教育総務課長	挙手はしておりません。「ご異議ありませんか。よろしいですか」と諮る形での採決の方法で行っております。
志賀教育長	他にありませんか。それでは、次に移ります。本日の審議事項は4件です。まず、議案第32号令和4年度竹田市教育予算9月補正要求書についてです。課ごとに説明をしまして、全部の説明が終わってから質疑を受けたいと思います。最初に、教育総務課長。
野仲教育総務課長	要求書説明資料の2ページをお開きください。教育総務課に関係する部分をご説明いたします。まず、歳入のへき地児童生徒援助費等については、久住中学校統合に伴って購入するスクールバスの国庫補助金額が、国の内示により確定したことによる48万円減額でございます。歳出について、まず事務局費のスクールバス通学管理システム導入に1,142万9千円を計上しています。これは、学校統合により増加するスクールバスの運行管理として、児童・生徒が乗車しているかどうかを確認できるシステムを導入するものです。乗り降りの確認作業をデジタル化して、児童生徒の安全管理と、保護者や教職員、運転手の負担軽減を図ることを目的としております。次の、スクールバス内無線LAN設置等委託料の110万円ですが、遠距離通学の乗車時間をタブレット端末を使った学習などで有効活用できるよう、スクールバス内にWi-Fi環境を整備するものです。現在運行中の7台と久住中の追加分3台を合わせたバス10台分の費用です。次のスクールバスフリップダウンモニター購入費187万円ですが、これも同様の目的で、車内にDVDなどの視聴できるモニターを設置するものです。同じくバス10台分を計上しています。続きまして、中学校管理諸費ですが、会計年度任用職員期末手当の13万2千円の増額。これは、当初予算の時点では、新規採用の会計年度任用職員による学校配置を見込んで予算計上しておりましたが、勤務が継続する職員、つまり再任用職員が割り振られたことに伴い、積算する期末手当に不足が生じたため増額要求をするものです。次の、緑ヶ丘中学校の高圧区分開閉器修繕82万3千円は、停電事故を防ぐため、老朽化した器具を取り換えるものです。竹田中学校の体育館照明器具取替工事93万5千円は、体育館の照明、故障した水銀灯の一部をLEDに取り換えをするものです。最後に、都野中閉校記念事業補助金は、このたびの学校統合決定に伴い、来年度の閉校に向けて記念誌発行等の諸事業の準備を行う都野中の実行委員会へ補助を行うものです。久住中と同額の130万円としております。

志賀教育長

佐藤教育指導係長。

佐藤教育指導係長

はい。学校教育課分であります。3ページをご覧ください。1の歳入についてはありません。歳出の部分です。外国語指導助手招致事業ということで、この度、新規ALTの着任に伴い、渡航費用負担金等として606千円増額計上しています。続きまして、人材育成海外交流事業ですが、ヨーロッパの情勢とコロナ感染状況を勘案しての事業中止に伴い、1,434千円減額計上しています。続きまして、教育委員会事務局費であります。これにつきましては、竹田高校・久住高原農業高校、支援学校の児童生徒数の変動に伴い、竹田市学校保健会負担金の拠出率が変動したため、2千円増額計上しています。続きまして、小学校教育振興諸費ですが、学習ソフト「コグトレ」導入による351千円の増額です。「コグトレ」は、認知機能の強化を目的として紙ベースで活用している学校が多くありますが、オンラインで取り組むことにより自動採点もでき、パズルやゲームのような内容で児童が主体的に取り組め、より効率・効果的に行えます。クラスの全体の成長度も視覚的に把握できるようになり細やかな指導ができるということです。最後に、幼稚園教育振興費ですが、保育料無償化に伴ない竹田市に住所を有する園児の豊後大野市へ区域外通学したいという申し出を基に、その保育料の市負担金の部分として207千円増額計上しています。以上であります。

志賀教育長

はい。工藤生涯学習課長。

工藤生涯学習課長

はい。4ページをお開きください。歳出の10.5.3事業番号350番、公民館管理運営費でございます。要求額2,532千円の内容について申し上げます。令和2年度に荻、久住、直入公民館については、コロナ感染症対策としてトイレのセンサー水栓取り付け工事を実施しておりますが、竹田、明治、豊岡、入田、うば岳、菅生、城原、白丹、都野公民館分館については、未設置でございましたので、今回1,250千円要求するものです。明治分館・宮砥分館のWiFi整備事業につきましては、両地区ともに地域コミュニティの実践地区とこれから取り組む地区でございます。地区の要望により今回953千円要求するものです。土居市長の「学校で学び地域で育む」方針により、公民館を核とした地域の拠点づくりのための事業でございます。他の分館につきましても、令和5年度の当初予算要求時に計上の予定です。事業番号354番、荻公民館運営事業でございます。主要内容に24年が経過とありますが26年に訂正願います。1996年に設置して26年経過した高圧開閉器交換の費用539千円でございます。通常10年の交換を推奨されており、このまま継続使用すると爆発の恐れもあるためです。10.5.13事業番号393番、佐藤義美記念館運営管理費は、ベランダを支えている柱の腐食が進んでおり、昨年度1本は修繕しましたが、更に腐食の進行が進んでいるため、安全性を優先するため今回116千円を要求するものです。事業番号394番、あ祖母学舎運営管理費でございます。コロナ感染症対策として館内トイレのセンサー水栓取り付け工事費372千円を要求するものです。事業番号395番、簡易宿泊所運営管理費、いわゆるドイツ村簡易宿泊所の止水栓・配管劣化による配管取替工事175千円と、コロナ感染症対策としての館内トイレのセンサー水栓取り付け工事費878千円を要求するものです。以上です。

志賀教育長	はい。松田学校給食調理場長。
松田給食調理場長	はい、給食調理場です。当日の差し替えになって申し訳ありません。机の上にワンペーパー置かせていただいておりますので、そちらの方をご覧ください。歳入です。6月議会で議決していただいた「新型コロナ地方創生臨時交付金事業」を活用した給食費負担金の補助金ですが、6月の時点では県立竹田支援学校の児童生徒さんの分を含めて計上しておりました。ところが、7月に入り、県立学校に対する支援は県が行うことが通知されましたので国庫補助金を減額し、あらたに教育費負担金の細目を起こし、竹田支援学校の児童生徒さん51人分の91,800円を受け入れるものです。歳出です。事業No.361久住調理場費の備品購入ですが、給食を発送するプラットホームのエアカーテンの風量が経年劣化で弱くなりましたので取替えをするものです。3月議会において当初予算で要求した金額を措置していただきましたが、物価高騰のあおりを受け、当初予算策定時に参考とした見積りより部品代等が値上がりしたため落札する業者がありませんでした。再度、入札を行うために値上がり分の5万9千円を要求するものです。次に、事業No.913 中央調理場運営費の修繕料ですが、給食配送車のスタッドレスタイヤ2本分を要求するものです。以上です。
志賀教育長	すべて説明終わりましたので、質疑を受けます。まず、教育総務課の補正予算に質疑等ありませんか。甲高委員。
甲高委員	はい。歳出で10.1.2の科目です。一度説明をいただいたんですが、システムでたとえば降り忘れとかそういうことを運転手が把握するようなシステムになっているんでしょうか。そういうのが大事になってくるのかなど。運転手も確認していただけたらと思うんですが、しっかりとその辺がそのシステムの中に組み込まれているのかどうか。これから学校統合が始まったとして、スクールバスで通うことが多くなってきますので、大事になってくるのかなと思いますので、よろしくお願いします。
志賀教育長	教育総務課長。
野仲教育総務課長	はい。このシステムは、プロポーザル方式によって入札をする予定にしておりますけれども、こちらが示す仕様としては、顔認証による体温計の機器をスクールバスに設置して、乗るときと降りるときにチェックができ、誰が乗ったか、誰が降りたかが分かるようなシステム構築を考えております。ですので、新型コロナ感染対策補助金を活用できればというふうには考えているところであります。以上です。
志賀教育長	よろしいでしょうか。甲高委員。
甲高委員	DVDが視聴できるようにということですが、これはもう当たり前なんですけど、どういうものを予定しているとかありますか。
志賀教育長	教育総務課長

野仲教育総務課長	各バスの天井に、あまり大きくはないんですが、18インチのモニターですね、テレビを設置いたしまして、それを座席から全員が観れるように、DVDなどが視聴できるような形態を想定しております。
志賀教育長	よろしいですか。
甲高委員	放送内容とか、どういうものを流すとかいうのは、これからまた考えるということでしょうか。
志賀教育長	教育総務課長。
野仲教育総務課長	放映の内容については、これから事務局でも検討していきたいと考えております。
志賀教育長	はい、他にありませんか。賀籠六委員。
賀籠六委員	同じ科目ですが、これは既存のスクールバスすべてに新しいものを全台に取り付けるのでしょうか。
志賀教育長	教育総務課長。
野仲教育総務課長	はい。現在、7台が運行中ではありますが、久住中学校3台を追加となりますので、全部で10台分、すべてに設置をする予定にしております。ですから、1台分はこれの10分の1の額を見積もりで考えております。
志賀教育長	よろしいですか。賀籠六委員。
賀籠六委員	予算と関係ないですけども、スクールバス内に無線LANを設置して、タブレットでできるということですが、現状、学校によっては子ども達にタブレットの持ち帰りということができていないと思うので、こういう整備をしていくのであれば、是非学校側も持ち帰りの方を早目に進めていってほしいなと思います。
志賀教育長	各学校には、学校による差がないように指導を強めたいと思います。その他ありませんか。それでは学校教育課について質疑等ありませんか。次に生涯学習課について質疑等ありませんか。佐藤委員。
佐藤委員	事業番号354 荻支所の高圧開閉器交換というのがあります。これがよくわからないので調べてきましたが、定期的にとどれくらいの期間で検査をされているのかということと、これと同じものが緑ヶ丘中学校も交換になっています。26年たって爆発する恐れがあるというものが、学校にも設置してあるということですが、検査は定期的にとどれくらいの期間でされているのか教えてください。
志賀教育長	生涯学習課長。
工藤生涯学習課長	検査は毎年しておったと思います。とにかく延ばし延ばしといいますか、それで行けるだけやってきたというのが現状で、26年経過しておりますので、ここ

に書いている普通は10年で交換してくれという話ですから、もう3倍近くになると、当然そこはおかしいのでそれについては今回交換をというところでございます。

志賀教育長

よろしいですか。佐藤委員。

佐藤委員

学校に設置してあるのも、1年に1度の検査になりますか。

志賀教育長

教育総務課長。

野仲教育総務課長

学校の分の件ですが、1年に1度の点検であります。特にこの高圧開閉器の取替は、先ほどの生涯学習課と一緒にあります。緑ヶ丘中の機器も推奨はやっぱり10年間ですが、これは確か22年経過していたかと思えます。それで点検の業者にすべての機器を点検いただいて、優先順位の高い、設置年数の古いものから、今回順次交換していくという計画にしております。

志賀教育長

よろしいでしょうか。生涯学習課他にありますか。では、調理場について質疑等ありませんか。ないようですので、議案第32号を承認してよろしいでしょうか。

委員

(「はい。」の声。)

志賀教育長

はい、承認されました。次に、議題第33号竹田市立小中学校通学区設定に関する規則の一部改正についてです。佐藤教育指導係長、説明をお願いします。

佐藤教育指導係長

はい。3ページから、8ページまで、新旧対照表をつけさせていただいております。下線分が改正させていただく箇所になります。主な改正点としましては、統合による児童生徒の心情及び成長への配慮から、指定校変更届を提出することにより、統合検討委員会において統合が決定した学校の児童生徒は統合先となる学校に、前もって入学・通学できるよう規則改正を行うものであります。あわせて、文言の整理等、所要の改正を行っております。この件につきましては未就学児を含む菅生小学校保護者総意で要望されたことをはじめ、他の学校の保護者からも、配慮を望む声が教育委員会に寄せられておりましたので、ずっと検討してきたところであります。具体的に言いますと、菅生小学校が令和7年4月1日に、統合検討委員会の中では統合と決定しています。希望する児童生徒が、指定校変更届を提出することによって、前もって統合先である南部小学校に、令和5年度、令和6年度に前もって通えるようになるという部分の規則改正をさせていただきたいと思っております。メリットとしましては、低学年時から、児童が集団の中で多様な考えに触れ合い、協力し合い切磋琢磨することを通じて、一人一人の資質能力を伸ばしていくことができるということでもあります。また統合先での同級生との学習面の進歩の差、友人関係の戸惑い等の問題を解消できるようになると思えます。児童、保護者も幼稚園等での人間関係がそのまま継続できますので、より良い学習、安心して子供たちの統合によるそういう部分の心情、成長への配慮から規則改正を行うものであります。あわせて、障害児学級など現在使われていない文言がありましたので、その部分整理をさせていただいているところであります。以上であります。

す。

志賀教育長

質疑等ありませんか。甲高委員。

甲高委員

私の方もですね、保護者の方からこのようなことを言われておりました。ただやっぱり心配になってくるのは、例えばあらかじめ行きたいという児童が増えてきたときに、残った生徒が数名になってしまうとかということが懸案事項となるのではないのかなと思います。その児童に対するケアをしっかりと提供していきたいなと思います。お願いしたいと思います。

志賀教育長

はい。教育指導係長。

佐藤教育指導係長

甲高委員から出されました要望、ご意見、ごもつともだと思います。私たちもその辺が心配で、菅生小とは何回もそういう部分の話をしてきました。やはり残された在校生にとって新入生、下級生がいないということは高学年としてのリーダー性や、下級生の世話をするとかそういう育成の部分で困難になるというようなデメリットもあります。しかしながら、これから入ってくる子どもたちにそういう部分の配慮をしてほしいという上級生の保護者からもご意見がありました。また、そうすることによって先生の数等も減ってくる可能性もありますが、できる限り県の方に要望しながら、そして教育委員会としてフォローしながら行きたいと思っております。以上です。

志賀教育長

他にありませんか。吉野委員。

吉野委員

統合が決定しているケースに関して前もって、統合先に行けるようにということは、この要望がどのタイミングでも、例えば年度途中とかにそういう要望が出ることもあるのではないかと思います。その区切りとかそういう細かい規定はあるんですか。

佐藤教育指導係長

今回一部改正が認められることによって、規定の指定校変更届を提出してもらえば、学年の年度途中でも行くことが可能になるということでございます。

志賀教育長

他にありませんか。ないようですので、議題第 33 号を承認してよろしいですか。

委員

(「はい。」の声)

志賀教育長

はい。承認されました。次に、議題第 34 号令和 3 年度竹田市教育行政に関する点検評価報告書についてです。教育総務課長、説明をお願いします。

野仲教育総務課長

資料の 9 ページになります。議案第 34 号、令和 4 年度竹田市教育行政に関する点検評価報告書についてでございます。この案は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条第 1 項の規定に基づき、竹田市教育行政の点検評価報告書を作成するものであります。

本日、委員の皆様のお手元に、点検評価報告書(案)をお配りしております。内容につきましては、前半部分が点検評価の概要と教育委員会の運営・活

動状況、19 ページ以降が点検評価シートとなりますが、竹田市長期総合教育計画を柱として取り組んだ教育行政の主要施策を対象として、各所管課が自己評価の形で点検・評価を行っております。現在、この報告書（案）を外部評価委員2名にお示しをし、各項目についてのご意見・ご助言をいただくよう依頼をしているところでございます。その意見が揃いましたら、75 ページ以降に、その外部評価委員からの評価・講評を掲載いたします。その外部評価委員の意見を受けて、必要に応じて点検評価の最終調整を行い、来月9月の教育委員会定例会に点検評価報告書の最終案を提出いたしたいと考えております。その後、完成した報告書を議会9月定例会で市議会へも配付をし、10月には市のホームページに掲載をして一般に公開する予定としております。本報告書はかなりボリュームがあり、この場ですべてに目を通すのは難しいかと思われまので、委員の皆様には、お帰りになってゆっくり内容をご確認いただいて、何か疑義、ご意見等ございましたら、次回定例会までにお知らせ願いたいと思います。以上です。

志賀教育長

報告書は、委員皆さんからいただいた意見と、外部評価委員の意見等を反映させた報告書に修正して、次回の定例会で、承認をお願いしたいということです。今後、ご意見があれば、次回定例会までお知らせをいただきたいと思います。本日は今の時点でご意見、質疑はありますか。それでは次回定例会、よろしく願いいたします。それでは次に、議題第35号ですが、本議題は、教科用図書の採択に関する事なので、非公開審議としたいと思いますが、それでよろしいでしょうか。

委員

（「はい。」の声）

志賀教育長

それでは、竹田市教育委員会会議規則第15条第1項の規定により、非公開とします。なお、進行の都合上、すべての協議が終了してから審議を行います。それでは次に、本日報告事項ありませんので、協議事項に移ります。協議事項について、教育総務課長、説明をお願いします。

野仲教育総務課長

はい。協議事項の一つ目が、幼稚園・小学校運動会についてです。資料2ページに、日程と出席者の割り振りを載せております。これに、詳細の開会時間等を書き加えたものを、次回の9月定例会で再度提案いたします。なお、出席ができない場合には、早目にお知らせいただきたいと思います。次に3ページをご覧ください。協議事項二つ目の、教育長・教育委員の学校訪問についてでございます。学校訪問の日程については、今月開催の校長会議で提案をいたします。学校の都合によって変更する場合は、日程調整をして、次回の9月定例会で再度提案をさせていただきたいと思います。下段の3の留意点に書いておりますが、昼食は、午前中最後の学校で給食をいただくこととしております。協議事項については以上です。

志賀教育長

質疑等ありませんか。佐藤委員。

佐藤委員

今年も学校訪問の日程が発表になったんですが、今年で私は5回目になります。今後統合に向けても準備もあるんですけど、サフランや給食調理場の見学、訪問ができるのであれば、この日程の中でもいいし別日程でも構わないの

で一度訪問したいと思いますが、検討していただけないでしょうか。

志賀教育長

はい。教育指導係長。

佐藤教育指導係長

サフランについては、学校教育課の所管になりますので、この中に組み込むのか、それとも別日とするのかは、調整をさせていただきたいと思います。是非とも来ていただいて様子を見ていただけるとありがたいなと思っていますので、よろしくお願ひしたいと思います。

志賀教育長

調理場長。

松田給食調理場長

学校給食の見学でございますが、見学コースがございますので、是非おいでいただき、調理員さんの動きとか見ていただきたいと思います。よろしくお願ひいたします。

志賀教育長

それでは、サフラン、調理場の見学訪問については、また日程等を相談させていただきたいと思います。よろしいでしょうか。他にありませんか。では次に連絡事項をお願いします。総務課長。

野仲教育総務課長

はい。連絡事項（１）、８月の幼稚園・小・中学校の行事予定表につきまして、資料の２ページをご覧ください。８月３日、都野中学校での竹田子ども交流集会、リモートで開催いたしました。５日、南部幼稚園での親子交流会。６日、平和授業。７日、青少年のための科学の祭典２０２２大分大会。８日から１５日までの平日は、ＴＳＨ、学校閉庁日となります。２５日、小中学校の始業式。２７日・２８日の両日、夏休みこども作品展。２８日から３０日にかけて、竹田中・久住中・都野中の修学旅行。３１日から９月２日にかけて、竹田南部中・緑ヶ丘中・直入中の修学旅行。次のページ、３ページをご覧ください。８月の教育委員会関係日程（予定）表です。本日８月４日、瀧廉太郎記念全日本高等学校声楽コンクール運営諮問委員会、及び教育委員会第８回定例会。６日、第３０回ナイター陸上、これは来年度に延期となりました。１０日、第５５回大分県公立学校教頭会研究大会竹田大会、これはリモート開催となります。１７日、第１回竹田市表彰委員会。１８日、第６回校長・所長会議、及び大分県市町村教育長協議会総会。１９日、文化部活動改革推進モデル事業による合同部活、及び竹田市地方創生推進会議・合同検証会議。２０日、直入地域小中学校保護者との懇話会。２３日、人権を守る市民の集い。２４日、岡の里名水マラソン第１回実行委員会。２６日、第１回中３学力診断テスト、及び定例課長会議。資料１ページに戻っていただきまして、（３）今後の主な予定です。①教育委員会第９回定例会、９月５日（月）１５時から、場所は本庁議室、②教育委員会第１０回定例会、１０月５日（水）１５時から、場所は同じく本庁議室で行います。連絡事項につきましては以上でございます。

志賀教育長

質疑等ありませんか。それでは、その他、各課からお願いします。最初に、教育総務課長。

野仲教育総務課長

はい。教育長報告の際、吉野委員からの質疑で答弁いたしました、学校統合について、先ほども申し上げましたとおり、都野中学校が先月７月の２７日の

統合検討委員会におきまして、来年度、令和5年4月1日を実施日として、竹田中学校へ編入により統合ということが決定いたしました。その直前に実施されたPTA主催のアンケートがございしますが、8割の保護者の皆様が私どもの統合提案に賛同する結果が出されておりました。残りの2割の方々が教育委員会の提案には反対、学校存続を望んでおり、またアンケートに回答をいただいていない保護者もいらっしゃいます。今後は、統合のその日まで、両校の交流授業等を積極的に進め、子ども達はもちろんでございますが、保護者の皆様の不安が少しでも和らげられるよう対応してまいりたいと思います。また、スクールバスを利用した遠距離通学となりますので、子供たちの心身の負担軽減ができるような方策を、併せて検討していきたいと考えております。早速に、都野中学校の閉校に向けた準備実行委員会を組織しまして、諸準備を進めてまいります。何よりも、竹田中へ通うこととなる子ども達が、安心して合流できるように、意欲と希望を持って、竹田中の門をくぐれるように、関係する皆様と協力して、取り組んでまいりたいと思います。以上であります。

志賀教育長

はい。佐藤教育指導係長。

佐藤教育指導係長

はい。学校教育課から3点報告します。まず1点目が、7月末に届きました全国学力学習状況調査結果について報告します。本年度も4月に小学6年生と中学3年生対象に、国語・算数、数学、そして本年度は理科の3教科の調査が全国の小中学校で実施されました。前年度までの学習が定着しているのか、習ったことを活用できるのか、課題となるのはどの教科・どの領域か等が確認できるわけです。小6は、国語・算数・理科3教科とも全国平均には届きませんでした。領域別にみると、国語・理科は1/2以上の領域で全国平均以上でしたが、算数は4領域すべてで全国平均に届いていません。また、国語は「読むこと」が大きく落ち込んでいることが課題です。3年前から竹田市学力向上プランで示している「小学校低学年は、毎日、図書館で本を借り換え、読書を習慣づける」ことをさらに継続、徹底し、1年生の内から読むことの楽しさ、大切さを身に付けさせたいと考えます。中3は、国語・数学において全国平均を上回ることはできましたが、理科だけ届きませんでした。ただ、この学年は平成31年、小6での全国調査において、算数は、正答率が全国平均マイナス3.6と大きく落ち込んでいたものの、中3数学は全国平均プラス1.6と健闘しています。さらに分析を深め、検証・改善を行い、各学校は2学期以降の授業改善に繋げるように取り組んでいきます。なお、この調査は学力だけでなく児童生徒の学習環境や生活習慣等も把握することを目的としています。例えば、「人の役に立つ人間になりたいか」で当てはまると回答した中3生徒は全国73.5%に対して竹田市83.1%、しかし、小6児童は全国75.1%に対して竹田市68.5%でした。また、「学校に行くのは楽しいか」では、当てはまるとどちらかと言えば当てはまると肯定的回答をした中3生徒は全国73.5%に対して竹田市86.1%、しかし、小6児童は全国85.4%に対して竹田市83%でした。質問は75問ありますので、こちらも詳細に分析し検証・改善につなげていきたいと考えます。次に、7月21日に開催された「第2回部活動検討委員会」について報告します。第1回では意義・目的を確認し、課題を出し合い、第2回までに休日部活動の指導者及び受け皿を探ることとしておりました。教職員への無記名のアンケート結果では、現時点で来年度以降の休日部活動の竹田市での指導を希望する先生は9名でした。地域スポ

ーツに関わる委員のみなさんからは、指導者は小学生を中心に指導しているため時間のない人が多いという意見が出されました。また、県の先行事例である野津原中のNクラブの活動、また朝地中の活動等を参考にしながら、さらに議論を深めていきたいと思っています。次回の検討委員会ではNクラブの森氏を招へいし、休日部活動の地域移行に向けて研究していくこととしました。最後に、8月1日から3日にかけて行われた「学校新聞特派員派遣事業」についてですが、令和元年度に姉妹都市である中野市の中学生が竹田市に派遣されてから、その後2年間、コロナ禍のため実施できていませんでしたが、本年度は、竹田南部中学校の生徒会役員3名と教員、市の職員が市長と共に中野市を訪問することができました。取材してきた様子は来月の広報誌に掲載されますのでどうぞ読んでいただければと思います。学校教育課から3点の報告とさせていただきます。

志賀教育長

はい。工藤生涯学習課長。

工藤生涯学習課長

はい。生涯学習課から2点報告申し上げます。1点目は先ほど、8月の行事予定で報告を行いました。8月6日土曜日開催予定の第30回ドリームゲームズIN荻につきましては、現在の新型コロナウイルス感染症拡大の状況を受け、次年度に延期と決定いたしました。2点目、第75回大分県スポーツ大会につきましては、現時点では2週間の健康チェック等、感染症対策を実施することにより、開催の予定です。本日、組み合わせ抽選会が行われました。しかしながら、県下・竹田市の感染状況は最悪でありますので、どこかの時点で、急遽、開催可否の会議が開かれるかもしれません。現在の状況を申し上げます。以上でございます。

志賀教育長

真田まちづくり文化財係長。

真田まちづくり文化財係長

はい。まちづくり文化財課からは1点報告いたします。竹田市内に残されている多様な文化財を後世へ確実に守り伝え、まちづくりに活用していくために、文化財行政の総合計画であります「竹田市文化財保存活用地域計画」の策定を進めていることについて、前回の定例会において、古田課長より説明を致しました。計画策定協議会、文化財保護調査委員会を開催し専門家の皆さんからご意見等を伺い、計画の最終案ができあがりました。現在、その計画案について、市民の皆様へ公開し、ご意見をいただくパブリックコメントを実施しています。このパブリックコメントにおいて寄せられた、意見等の内容を検討し、計画案の最終修正を行い、8月末には文化庁へ認定申請を行うこととなっています。なお、パブリックコメントは7月29日から8月12日までの期間で、市のホームページ及びまちづくり文化財課窓口にて計画最終案を公開しています。まちづくり文化財課からは、以上です。

志賀教育長

佐藤歴史文化館長。

佐藤歴史文化館長

はい。チラシを机上に配らせていただきました。8月28日(日)まで、Japan Galleryとのコラボ企画として、「I am here Vol.2 ～萌芽～」展を、特別展示室・ちくでん館と市民ギャラリーにおいて開催しています。昨年のVol.1に続き、今回はJapan Galleryのアーティスト5名と招聘アーティスト1名の作品

展を開催し、竹田をはじめとする“今”のアートを、市民をはじめ多くの皆様に紹介いたします。竹田を拠点に現代アートの第一線で活躍するアーティストの作品をご覧いただければと思っております。なお、アーティストによるワークショップも開催します。よろしくお願いいたします。

志賀教育長

松田給食調理場長。

松田給食調理場長

前回、この会で、7月23日に親子料理教室を開催しますとお知らせをさせていただきました。久住地域の小学生を対象にした親子料理教室でしたが、コロナ感染が拡大したためにやむなく中止といたしました。参加希望をいただいていた方については、レシピと食材の配布を行いましたことを報告いたします。以上です。

志賀教育長

図書館について、野仲教育総務課長。

野仲教育総務課長

はい。図書館については、特にございませぬ。

志賀教育長

はい。意見質問等ありませんか。では、教育委員の皆様からご意見、ご感想等があればお願いします。甲高委員からどうぞ。

甲高委員

はい。私から2、3点、いろんな会に参加した感想などを述べさせていただきたいと思ひます。一つ目は、野仲課長からもありましたが、統合について都野中も令和5年4月1日ということですが、統合が決まってからの方が大事になってくるのかなと思ひています。保護者や児童、生徒の意見を聞きながら、丁寧に進めていただければと改めてお願いをしたいと思います。そして教育長報告の中にありましたが、久住高原クロスカントリー大会に役員として参加させていただきました。コロナ禍で開催もちょっと心配をしていましたが、多くの選手が、マスクを外して感染対策もしながら、いい汗をかきながら走っている姿を見て、こういう姿をまたやっていきたいな、普通に戻りたいなというのが本当の感想でした。ただ荻町のドリームズゲームに関しましては、残念ながら中止というか順延、30回の記念大会でありますので、順延という形で、来年しっかり開催をできたらなというふうに思ひています。あと、7月23日の竹田高校の未来を輝かせる会というのに、私が教育委員を代表いたしまして参加をさせていただいております。すごく皆さん竹田高校を心配しておりまして、熱い意見が多く予定時間を大幅に超えて会議がありました。また、内容につきましては、後日この会でも報告をいたしたいというふうに考えておりますので、何かご協力あるときはよろしくお願いいたしますと思ひます。以上です。

志賀教育長

はい。佐藤委員、お願いします。

佐藤委員

コロナの感染が拡大して、より身近に迫っているのかなと感じているのですが、保護者の中には、学校に登校させると感染するので少し落ち着くまで、今週1週間休ませようと思ひていますとか、今夏休みであるので、明後日の登校日には登校を見合わせますという保護者の方の、そういうお話を聞くことがあります。学校は消毒をして、通常に再開をしているのにも関わらず、やっぱり怖いということで、学校を休ませる保護者の方がいらっしゃいます。それは、

個人、家の考え方でありますので、特にそれには意見はないと思うんですが、学校を休むとやはり学習面では子ども自身は遅れてしまうのではないかなという、そういう話をすると私はいつも心配になるんですが、そういうお子さんに対して、学校はタブレットを使うこともあるだろうし、具体的にどういう対策をとられているのかなと少し心配になったので、教えていただけるかなと思いました。

志賀教育長

それでは最後にまとめてということでお願いします。では、吉野委員。

吉野委員

はい。私は普段、放課後子ども教室で活動しています。今日は随分悩みましたが、木工教室というのを直入の放課後子ども教室で実施してきました。場所が屋外であることと、参加人数が比較的少なめであったことから、距離を取って消毒などしながら実施したんですけど、ほんの1時間半ぐらいの間に低学年の子ども釘を打つのにすごく集中して、とても上達して、いきいきと目を輝かせて作業をしてくれました。最後に、学校の校舎内で見るとやっぱりちょっと違うなという感じのはじけたような笑顔で、とてもいい時間が過ごせました。一方、今、松田場長からもありましたが、放課後教室でも料理教室を予定していましたが、室内でするものというのはちょっと今心配なので、実施はこちらも延期しようというふうにしていますが、いつかタイミングを見て実施できるときに是非出来たらいいなというふうに思っています。一方、部活でも感染が心配されますけど、外で走っている姿とかをみるとやっぱりこういう姿を見て、地域の大人たちも元気をもらったりするのかなあと思ったり、また部活以外の時間に自主トレーニングで走っている中学生をよく見かけるんですけど、ああいう姿がやっぱり日常にあり続けて欲しいなあというふうに願っているところです。以上です。

志賀教育長

はい、賀籠六委員お願いします。

賀籠六委員

はい。現在ケーブルテレビで放送されていますが、タカギのソフトボールチームの方が合宿に竹田市に来られた際に久住小学校に来ていただきました。子供たちと触れ合う機会を設けていただき、その子供たちが実業団の方と触れ合うことで普段体験できないことができたのではないかなと思って、タカギのソフトボールのチームの方々に感謝したいと思います。それと、先月の定例会時に、竹田中と久住中の交流授業を見に行きたいということをお話していましたが、コロナの影響で中止になって見に行けなかったのですが、2学期以降開催されるようであればぜひ見に行きたいと思っていますので、日程等決まりましたら教えてください。よろしくお願いします。

志賀教育長

感想とご意見をいただきました。1点、学習遅れの対策というのがありました。学校教育課お願いします。

佐藤教育指導係長

ご心配されるのはもっともだと思います。当然、そういう部分で休む方については、担任の先生等が連絡を取りながら、iPadを持っていったりして、eライブラリという学習ソフトありますので、不登校の生徒も含めてそういう授業をリモートでしたいという人に関しては、出来る限り行うような努力はしています。ただし、先ほど賀籠六委員も言われたように、学校によっては全ての授業

をリモートでするという部分はなかなか難しい部分がありますので、その辺、教育長の話もありましたように、学校に指導しながら、どこの学校でもそういう部分が随時対応できるような体制を、今後さらに取っていきたいと思っております。

志賀教育長

タブレットの使用についてです。昨日、子ども交流集会がありました。これは集まることに意義があるのですが、こういう情勢なので、リモートによって行いました。学校によってはすんなり入ってくるところと、手間がかかってすんなり入れないところがあるので、やはり使い慣れている、慣れていないという差があると思います。この差をなくしていかねばと思っています。それから、子ども自身が体調不良であるとか、或いは家族に調子が悪い人がいるという場合は、躊躇なく休むということを徹底しています。親御さんがどうしても心配だ、不安がある、そういった場合も出席停止にすることが可能です。このことは、今に限ったことではなくて、以前からそういうことができています。リモートは可能ではあるけれども、健康であるならば、こちらとしては、学校に来て、そして様々な授業以外の活動もして欲しいという願いがあります。もちろんリモートについても精度を高めていきたいというふうに思っています。その他ないでしょうか。それでは、ありませんので、議題第 35 号令和 5 年度使用教科用図書採択についての審議を非公開で行います。関係者以外の退出をお願いします。

[閉会時刻:午後 4 時 20 分]